



とよささい

vol.

60

2026.2



(記事はP6参照)



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
山口県済生会豊浦病院

〒759-6302
山口県下関市豊浦町大字小串10007番3
URL <https://www.toyoura-saiseikai.jp>

☎ 083-774-0511



下関市豊浦地域ケアセンター
ひびき苑 併設施設

・介護老人保健施設
・訪問看護ステーション
・居宅介護支援事業所

☎ 083-772-2231





令和8年

年頭にあたって



病院長 中司 謙二

令和8年新春を迎えました。今年の干支は丙午（ひのえうま）、躍動感や変化を象徴する縁起の良い年といわれています。変革を進めていく当院にとっても飛躍の年になると期待しております。

昨年は、ようやく新型コロナ感染も落ち着き、通常診療にもどり安堵していたところ、病院経営は、全国的な物価上昇と人手不足が重なり、当院にとりまして非常に厳しい一年でした。そんな中、職員の退職等の影響もあり、昨年1月から1つの病棟を休棟し、7月から病床機能を一部、急性期から地域包括ケア病棟へ転換するという病棟再編を進める激動の一年でした。地域の皆様方のご理解と職員全員の努力で、職員も増え、病棟再編は徐々に軌道に乗りつつあります。加えて1月から諸事情により、お産を休止することになり、皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。婦人科は継続しており、子宮がん検診、乳がん検診等に力を入れております。

昨年8月、当院としては初めて下関地区のやまぐち地域医療セミナーに参加協力し、9名の医学生、看護学生、薬剤師学生を迎えて、下関市立豊田中央病院とコラボして、地域医療の魅力をお伝えすることができました。術中遠隔病

理見学、特定行為実習体験等、好評でした。将来、当院に地域医療への志をもった若手の医師、薬剤師、看護師らが来てくれることを願いたいと思います。

今年の当院のスローガンは、「変革を進める」としてしています。昨年一年かけて進めた病棟再編をソフトランディングさせる重要な年になります。そのために、今年も以下の目標をもってスタートしています。

1. 職員が働き続けられる職場をめざす

病棟が忙しい時すぐに駆けつける「業務サポート部門」を活用し、ITを積極的に取り入れて効率の良い働きやすい職場をめざしております。だいたい看護師・看護補助者が揃ってきておりますが、当院で働きたい方がおられれば、是非紹介をお願い致します。

2. 地域に、よりよい医療サービスを提供していく

当院は信頼される地域密着型病院をめざしています。地域で唯一の総合病院ですので、24時間できる限り救急患者を引き受け、本年4月から下関市医師会豊浦地区の日曜祝日当番の輪番に入って協力することになりました。一方、医師の人材確保が難しい状況が続いており、法律で働き方も制限されておりますので、不要不急の時間外受診はできるだけ控えていただきますようお願い致します。健診部門も充実してきていますので、どうぞご利用いただきたいと思います。

以上2つを重点目標とし、患者さん第一の医療を実践し、地域の患者さんに信頼され、頼られる病院となるよう、職員一同団結してがんばってまいります。

本年も‘とよさい’をよろしくお願い致します。





年頭所感

特別顧問 上領 頼啓

新年明けましておめでとうございます。

今年もロシアのウクライナ侵略は停戦の合意に至らず、イスラエルとパレスチナ間の紛争も未だ終熄の気配無く、年末には中国の台湾を取り囲む軍事演習、更に年明け早々には米国のベネズエラ攻撃、北朝鮮の弾道ミサイル発射等々“世界に平和を…”と連呼する声が虚しく感じられる状況です。覇権国家、中国・ロシア・北朝鮮と隣り合わせの日本は四海波高し。憲法9条を金科玉条の如く抱く平和呆けから覚醒して、日本の確固たる安全保障体制を構築するために、防衛力を精度の高い堅固なものに整備しなければならないと思います。

扱、今年は午年。十二支を庶民に分かり易い様に動物に喩え、午は馬と表現されました。十二支に十干(甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸)が加わり、十干と十二支で干支と云われます。十二支(12種類)と十干(10種類)の組み合わせは12と10の最小公倍数60の組み合わせがあり、例えば甲年と子年(鼠)の組み合わせは甲子(きのえ・ね)、乙年と丑年(牛)の組み合わせは乙丑(きのと・うし)となります。ところで、今年は丙年と午年(馬)の組み合わせの丙午(ひのえ・うま)の年です。丙は火のエネルギーを表し、情熱的、迅速な行動力、強い自立心、能動的な思考等が。午は真夏の太陽を表し、飛躍、旺盛な冒険心、陽気、豊かな社交性、強いリーダーシップ等が備わっていると云われています。そうすると丙と午の組み合わせた丙午生まれの人の性格は実行力、包容力、決断力、集中力、統率力、推進力等果敢なイメージとなります。一方で気性が激越で、頑迷固陋の一面があると云われて来ました。従って丙午生まれの女性は積極的で激しく強い女性像が浮かんで来ます。今は昔のことになりますが、男女の性差が社会制度や日常生活に濃く反映していた時代では一般に所謂大和撫子タイプの女性が好まれ、

エネルギーでポジティブな女性は敬遠されました。つまり丙午生まれの女性は擯斥の傾向があったと云うことです。その証左として出生率に表れています。つまり前回の丙午の年は60年前の昭和41年(1966年)で前年の出生率が182万人であったものが、136万人と46万人(25%)の大幅な減少をみました。翌年は193万人に回復しています。

丙午生まれの歴史上の女性では北条政子と日野富子が代表格となりましょう。北条政子は平氏である父時政や周囲の反対に抗して自分の意志を貫いて源氏である源頼朝と結婚し、頼朝死後には鎌倉幕府の御台將軍と呼ばれ権勢を欲しいままにして、3代將軍実朝の次期將軍を巡って対立した父までも追放しました。同じ丙午生まれの日野富子は足利幕府8代將軍足利義政の正室で、男子が生まれないため義政が弟の義視を還俗させて將軍後継者となりましたが、後に富子に義尚が生まれ、山名宗全を後ろ盾に義尚を將軍に擁立し、義視側の細川勝元と争う応仁の乱の一因を作りました。義尚が將軍となったのは僅か10歳であったため富子が幕府の権力を握り、後の10代義隆、11代義隆の將軍就任にも関与しました。両者は確かに烈々とした波瀾に富んだ生涯でしたが、一方で北条政子は頼朝の命に背いて静御前を庇うなど情に厚く、日野富子は京の都に入って来る軍事物資に通行税を徴収したりして強欲な女性と江湖での評価ですが、幕府の財政立て直しに自身の蓄財を投じて、足利幕府存続に貢献しています。

丙午生まれの女性が忌諱されるようになったのは江戸時代に八百屋お七の事件を井原西鶴が“好色五人女”で取り上げて巷間に流布されたことが嚆矢濫觴と云われています。現代社会に生活する私達には丙午生まれの女性に就いての荒唐無稽な巷説を妄信している人は誰もいないと思います。

ひびき苑 だより



令和8年 新年のご挨拶

下関市豊浦地域ケアセンター所長 阪田 健介

新しい年を迎え、皆さまに心よりご挨拶申し上げます。日頃より当センターの活動に温かいご理解とご協力をいただき、深く感謝しております。2月はまだ寒さが続く時期ですが、少しずつ日差しに春の気配が感じられ、ご利用の皆様の表情にも明るさが戻ってくるように思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

高齢化が急速に進む中、医療と介護を取り巻く環境は年々大きく変化しております。ここ数年、ご利用の皆様の基礎疾患が重くなり、介護の必要度も高まる傾向を実感しています。一方で、介護人材の確保が難しく、現場の負担が増えやすい状況もあります。医療の高度化と専門分化が進んでいること自体は素晴らしい面もありますが、高齢者にとっては、生活の場で支える医療・介護の重要性がますます高まっており、「治す医療」から「支える医療」への転換が強く求められる時代となりました。

当ケアセンターは介護老人保健施設のひびき苑および訪問看護部門で形成されており、下関市の指定管理のもと、病院併設という強みを活かし、急性期医療から在宅・施設ケアまで切れ目のない支援体制を構築してまいりました。今年の3月で指定管理終了となりますが、日本最大の社会福祉法人「済生会」の横のつながりを生かして、入院治療後のリハビリテーションや生活支援、在宅療養における医療的ケア、看取り支援まで、御利用の皆様お一人おひとりと家族のように共に歩んでいけるケアセンターであり続けることを目標にしております。

とくに私たちが大切にしているのは、「ご利用の皆様が笑顔になり、その笑顔が職員のやりがいにつながる」という原点です。医療・介護の仕事は決して楽なものではありませんが、ご利用の皆様の安心した表情やご家族の感謝の言葉が、職員一人ひとりの誇りとなり、離職防止や人材育成にもつながっていきます。人材確保が困難な時代だからこそ、働く職員がやりがいを実感できる職場づくりを最重要課題と位置づけています。

また、病院との連携は私たちの最大の財産です。医師、看護師、リハビリスタッフ、介護職員、ケアマネジャーが顔の見える関係で情報共有を行い、医療と介護の垣根を越えたチーム医療・チームケアを今後もさらに深化させてまいります。

本年も、「地域で安心して老いることができる社会」の実現に向け、職員一同、誠実に、そして謙虚に取り組んでまいります。皆さまの変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

★ ひびき苑からのお知らせ ★

入場料
無料

ひびき苑福祉フェスタ

～人生100年時代に向けて～

を開催します!!!

日時 3月22日(日) 9:30～12:00

内容 ●健康講座(講師:施設長 阪田健介) ●健康体操
●リハビリ体験 ●総合相談コーナー ●カフェコーナー

来苑者
景品あり

先着
50名

ご来苑お待ちしております

第36回

全国介護老人保健施設大会が 下関で開催されました!!



11月27日と28日、第36回全国介護老人保健施設大会が下関市民会館周辺の施設で開催され、全国から約3300人の老健職員が参加しました。

私が以前より興味を持っていた眠りスキンのセッションに参加できた事は、非常に意義深い体験となりました。

演者の方の深い知識と情熱に感銘を受け、眠りの重要性について新たな視点を得る事ができました。

主な「眠りスキン」の機能として、ベッド上でのリアルモニターで「睡眠」「覚醒」「起き上がり」「離床」等の見える化機能と、呼吸数・心拍数の検知による状態異常通知機能となります。

その眠りスキンという試み自体が、科学と実践が融合した革新的なアプローチである事を強く感じました。安否確認の為に訪室による安眠の阻害防止・職員の労力軽減の観点から、とても勉強になりました。

私たちの健康や生活の質において睡眠が果たす役割は計り知れません。演者の方は、睡眠が脳や体に与える様々な影響を具体的に説明し、データを交えながらその重要性を訴えていました。その説明は非常に解りやすく、私達が日常生活の中で見落としがちな睡眠の質の向上にどう取り組むべきかを考えるきっかけを与えてくれました。

私たちも、棒付き飴を用いて口腔機能訓練により、流動食から経口摂取へ移行となった事例を発表しました。会場より、同様の取り組みを行おうと考えている他施設から、訓練の頻度や評価についてなどの質問もあり、興味・関心を持って演題を清聴していただきました。

このように質疑応答を通して多様な視点や意見を共有できたことも、この全国老健大会の価値を高める要因となっていました。参加者の中には、すでに様々な方法で睡眠の質向上に取り組んでいる方々がおり、その経験談を聞くことで新たな知識を得る事ができ、まさに「学びの場」としての魅力を体感しました。この貴重な体験を通じて、今後も利用者に対して健康的な睡眠を意識し、周囲の職員にもその重要性を伝えていきたいと感じています。



済生会施設31名で情報交換会を開催しました

済生会施設からは、7施設約31名の参加があり18演題の発表がありました。

全国各地より集まった済生会職員と各施設の取り組みを共有する貴重な機会となりました。

特に印象的だったのは、講演者が「利用者と共に頑張り、できなかった事ができるようになって笑顔で退所する姿が一番やりがいを感じる。」という発言でした。この言葉は、私たちが日々行っている介護や支援の本質を深く突き詰めたものであり、自らの使命感を再確認させられました。利用者の笑顔のために、そしてその生活の質を向上させるために、私たちが果たす役割は非常に大きいと感じます。そうした思いを持ちながら、これからも日々の業務に取り組んでいきたいと思います。

このような交流の機会に感謝し、全国で働く済生会職員の絆が深まり共に成長することで、介護老人保健施設の未来をより明るいものとなれればと考えます。



「ミエールフェス」に参加しました！

12月7日 ミエールフェス in 梅光学院大学

12月7日に梅光学院大学で行われたミエールフェスに、小松副院長を中心とした豊浦病院の有志で参加してきました。ミエールフェスとは、【子どもの習いごと(学ぶ)と子どもたち同士が繋がれる環境や場所を用意することで『夢中になれる』をお手伝いする】ことを目的としたプロジェクトです。豊浦病院は、医師、看護師、リハビリなどの職種体験として、内視鏡操作、特定行為用シミュレーターを使用した聴診・触診体験、BLS体験、豆堀みなどのリハビリ体験、お菓子のつかみ取り、健康相談などたくさん体験企画をしました。

当日は、1625名のお子様が参加しました。開会式では小松副院長が挨拶しました。先生の子供の頃のエピソードを交えた挨拶は子供達のハートに響いたようで、大ウケでした！豊浦病院のブースも大盛況で、充実した1日を過ごすことができました。



最後に、当日応援に来てくれた、日本看護協会のマスコットキャラクターのかんごちゃんのメッセージを紹介します

『たくさんのお子さんと触れ合えて、とても楽しかったにゃ！この中で1人でも多くのお子さんが医療・看護に興味を持ってもらえたら嬉しいにゃ！』



脳ドックのご案内

オプションドック
人気No.1!!

●検査曜日／月曜日～木曜日(要予約) ●所要時間／約半日

こんな方
にお勧めです

- ☐ 脳卒中・動脈瘤が心配な方
- ☐ 高血圧・高脂血症・糖尿病がある方

料 金

●頭部MRI ●頸部MRA

19,800円(税込)

●頭部MRI ●頸部MRA ●頸部エコー

22,000円(税込)

検査内容

- 頭部MRI検査
脳梗塞がないか等の検査
- 頭頸部MRA検査
脳の血管の状態や脳動脈瘤のチェック
- 頸部血管エコー
超音波で頸部の動脈の壁の厚みや血流の速さを測定。動脈硬化の様子を観察し、脳梗塞や脳障害を起こす危険性を予測する検査



脳梗塞



動脈瘤

お問い合わせ・申し込みは
医事課 健診係まで

医療連携登録医のご紹介



豊浦町

しんむら 医院

住 所 〒759-6302 下関市豊浦町大字小串194-3

電 話 083-774-3535 F A X 083-774-3502

登録医名 新村 和 典 院長

診療科 内科、小児科、胃腸内科、循環器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:30~12:30	●	●	●	●	●	●	—
午後の部 14:00~18:00	●	●	●	—	●	—	—

休診日／木曜(午後)・土曜(午後)・日曜・祝日



豊浦町小串に、しんむら医院として開業し34周年になります。さて、在宅医療は社会的にも認知され、少子高齢時代の進行と共に今や「外来医療」「入院医療」に並ぶ医療形態となって来ました。我々医療機関と患者・家族はいわば「絆」で結ばれています。子供からお年寄りまで病気はもちろんの事、出来れば心の悩みも相談して下さい。医師として社会に貢献できる幸せに感謝し、「医師である前に人間であれ」この気持ちを忘れず、又、プロ意識の欠如にならない様に、心の悩みも含めて病気を少しでも改善出来る様に精進して参ります。宜しくお願いします。



今回の回答者

栄養管理課

管理栄養士 中村 萌々花



Q この職業に就いたきっかけは？

A 食べることが好きで食を通して人の健康に関わりたと思ったから

Q ストレス発散法を教えてください。

A スポーツ観戦・旅行



Q 最近買ったものは？

A 靴下

Q 人生最後に食べたいものは？

A 祖母の作ったきんぴらごぼう

Q 座右の銘を教えてください。

A 心の豊かさ

Q 豊浦病院の良い所は？

A 海が綺麗で地域に寄り添う病院

Q 最後に一言！

A 頑張ります！よろしくお願いします。



山口県済生会豊浦病院 外来診療案内

〈受付時間〉 月曜日～金曜日 8時30分～11時30分

電話番号 **083-774-0511**

※休診等で診療をお受けできない場合もございますので、ご了承下さい。

予約の変更は月～金曜日午後12時30分～14時30分に各科外来までご連絡下さい。

令和8年2月1日現在

診療科	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	備 考
内 科	高 橋 徹 郎	弘 津 喜 史		弘 津 喜 史	弘 津 喜 史	
	橋 本 興 (療養内科)	川 田 泰 伸	橋 本 興 (療養内科)		川 田 泰 伸	
		阪 田 健 介 (漢方外来)	瀧 原 安 子		瀧 原 安 子	
	中 嶋 佑 輔		高 橋 徹 郎	阪 田 健 介 (漢方外来)		
		山 崎 武 伍		山 崎 武 伍	山 崎 武 伍	
(専門外来)	廣 重 俊 典 (血液・糖尿病)			松 永 仁 恵 (内分泌・糖尿病)		
				山 下 智 省 (消化器内科)		院内紹介のみ
	伊 藤 駿 介 (消化器内科) 13:00～		大 下 理 史 (消化器内科)	大 下 理 史 (消化器内科) 13:00～		院内紹介のみ
健診・ドック	古 谷 卓 三	古 谷 卓 三	千 原 龍 夫	古 谷 卓 三	千 原 龍 夫	
神 経 内 科				清 水 文 崇		
心 療 内 科			中 田 信 浩		野 村 道 次 (完全予約制)	
小 児 科	岡 崎 咲 栄	中 司 謙 二	岡 崎 咲 栄	中 司 謙 二	岡 崎 咲 栄	
(専門外来)	小児神経 向 野 文 貴 第1(予約制)	乳幼児健診 13:45～15:00	慢性疾患・アレルギー 14:30～16:30	腎臓・一般 岡 田 裕 介 (第1・第3・第5午後)		
	予防接種 14:00～15:00	予防接種 14:00～15:00	予防接種 15:00～16:00			
外 科	尤 曉 琳 藤 本 拓 也	藤 本 拓 也 尤 曉 琳	尤 曉 琳 藤 本 拓 也	藤 本 拓 也 渡 邊 孝 啓	藤 本 拓 也 小 佐 々 貴 博 井 岡 達 也 (第2) (腫瘍内科)	
整形外科	午前 橋 口 彰	橋 口 彰 ～11:00	担 当 医	橋 口 彰	岩 永 隆 太	
脳神経外科	長 次 良 雄	長 次 良 雄	長 次 良 雄	長次良雄(第2)	長 次 良 雄	
皮 膚 科	午前 駄 阿 也 眞 人		安 野 秀 一 郎	中 浜 都 (形成外科領域)		
泌 尿 器 科	上 領 頼 啓 小 松 宏 卓	小 松 宏 卓	上 領 頼 啓 小 松 宏 卓	安 井 平 造	塚 本 大 雅	
産婦人科	午前	爲 久 哲 郎	城 下 亜 文	杉 野 法 広		
リハビリテーション科				長 次 良 雄 11:00～(第2)		
耳鼻いんこう科	午前				竹 本 洋 介	完全予約制
	午後 眞 崎 達 也					
眼 科	午後 吉 本 拓 矢		布 佳 久			完全予約制

かんたん健康チェックのご案内

日頃からちょっと気になっている体のこと、簡単お手軽料金で検査を受けてみませんか？

受付時間

月曜日～金曜日

9:00～16:00

検査の受け方

- ① 病院の受付で申込書を記入
 - ② ご希望の検査場所での検査を受ける
- 後日、検査結果をお送りします。



これだけ！

検査項目

- | | |
|---------------------------------|--|
| ① 高脂血症が気になる方……………500円 | ⑦ 心臓機能が気になる方……………1,000円 |
| ② 糖尿病が気になる方……………500円 | ⑧ 前立腺が気になる方……………1,000円 |
| ③ 肝臓機能が気になる方……………500円 | ⑨ 骨年齢が気になる方……………1,000円 |
| ④ 腎臓・痛風が気になる方……………500円 | ⑩ 甲状腺機能が気になる方……………1,500円 |
| ⑤ 貧血が気になる方……………500円 | ⑪ メタボが気になる方……………2,200円 |
| ⑥ 血管年齢(動脈硬化)が
気になる方……………500円 | ⑫ おすすめセット (①+②+③+④+⑤)
通常2,500円 ⇒ 1,500円 |